

京都造形芸術大学において専任教員に求められていること

京都造形芸術大学教員の求人につきましては、ご応募の際に下記の点を十分にご理解くださいますようお願い申し上げます。

記

本学の専任教員の役割は、単に自身の持つ専門的知識や技術を学生に伝える（授業等）ことのみには留まりません。

本学では、その教育目標として「人類の直面する困難な課題を克服する人間の『想像力』と『創造力』を鍛え、社会の変革に役立てることのできる人材の育成」とうたっています。つまり、社会の変革に役立てることのできる人材の育成を実現するために、様々な角度から学生を支援していくことが専任教員に求められている役割となります。

そのためには、

- ①「教育力」＝学生が自発的に学ぶ意欲を引き出す力
- ②「社会性」＝教員自らの社会性ととも、学生に対して芸術による社会貢献、生き方を伝える力
- ③「運営能力」＝教員として人を動かし、結びつける力（ネットワーク、コーディネート能力）

の3点が本学専任教員に求められる資質となります。

また、本学では、上記教育目標を実現するための指標として「進路決定率 90%」を目標に掲げています。そのため、教員には、学生が自発的に学ぶ意欲を引き出しながら、個々の学生の志向や能力に応じて明確な目標を設定し、各自が目指す進路（就職・進学・留学・起業）を実現するために必要な積極的なサポートが求められています。

以 上